

KANAGAWA ARTS PRESS

September, 2006

神奈川県総合文化芸術情報誌

神奈川芸術PRESS72号(通巻76号)2006年9月15日発行(奇数月15日発行)

発行/神奈川県 編集/(財)神奈川芸術文化財団

●禁無断転載・複写●



Creator's Voice 91「クラシック娘。」 02

芸術活動支援のページ 03&06

神奈川県内・公立施設催し物情報 04&05

特集 県民ホールギャラリー企画展
「スーパー・エクスタシー」

大好評の「カナガワ・アート・カフェ」第2弾! 07

オペラでは譜面を忠実に再現することが大事ですが、ポップスでは皆で華やかなステージを作っていくことに力を注ぎます。

プロフィール
数多くのアーティストのプロデュースを手がけてきたつんく♫が歌って踊れるオペラ歌手を一堂に集めて結成した「クラシック娘。」。結成からのメンバーは鷗木絵里、高橋桂、北條聖子、田上千穂、小沢祐美子の5名のソプラノと、メゾソプラノの小林由佳の計6名。今回は高橋桂のかわりに、谷口睦美が出演。人気と実力を兼ね備えた若手オペラ歌手のユニットで、テレビ朝日「題名のない音楽会21」で活躍中。メンバーはいずれも二期会会員。

オペラ歌手ユニット

「クラシック娘。」

12月の神奈川県民ホール主催公演「オペレッタ・ガラコンサート～金と銀」に出演する「クラシック娘。」。

クラシックを気軽に楽しめるようにと「つんく♫」がテレビ朝日「題名のない音楽会21」のためにプロデュースした

「モーニング娘。」のクラシック版です。メンバーの皆さんにオペレッタの楽しみ方などお話をうかがいました。

「クラシック娘。」はどんなグループですか。

鷗木:「クラシック娘。」はソプラノとメゾソプラノのユニットで、全員二期会所属のオペラ歌手です。普段はテレビ番組「題名のない音楽会21」で「モーニング娘。」のヒット曲などのポップスなどを歌っていますが、今回神奈川県民ホールへの出演が番組外での初の本格的な活動になります。メンバーはある程度決まっていますが、それぞれにソロ活動やオペラ出演もありますから、時々メンバーも変わります。そこも「モーニング娘。」に近いですね。メンバー全員がオペラを心から大切にしている歌手の集まりです。

田上:年齢の近い女性だけのアンサンブルなので、アットホームで楽しいですよ。しかもメンバーはかなり個性豊か(笑)。クラシックの声を生かして作品に取り組んでいます。

谷口:グループ内で、おっとりさん、天然ボケさん、あわてんぼうさん、お笑い担当さんなどそれぞれしっかりとした個性があって、舞台はもちろんのことですが、舞台裏も目が離せない(笑)グループです。

北條:「クラシック娘。」とは、クラシックにあまり馴染みのない方々と堅苦しく思われがちなクラシック界とを、楽しく親しみやすい形で結ぶかけ橋だと思います。

声楽家にとってはマイクを使うことも踊りながら歌うこともあまり経験がないのでは。

鷗木:ポップスはマイク使用を前提にしているため音域が低いのですが、それを青島広志先生が編曲して私たちの音域にあわせてくださいます。オペラでは譜面を忠実に再現することが大事ですが、ポップスでは皆で華やかなステージを作っていくことに力を注ぎます。そこが一番違いますね。振付はつんく♫さんとKABA(かば)ちゃんを作ってくれましたが、実際にドレスを着るとリハーサルと違って足元も動きにくい

ですし、ウエストも締めてしまうので、少し動きを変えてもらうときもありました。

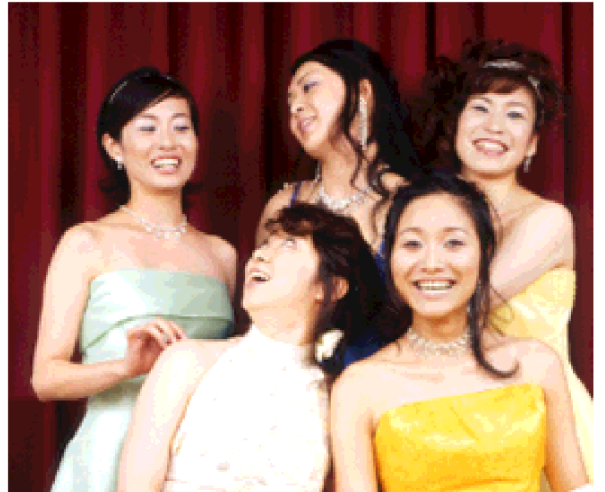
今回のオペレッタ・ガラの聴き所を教えてください。そもそもオペレッタというのはどんなものなのか。オペラとの違いは何でしょうか。

北條:オペレッタは、簡単に言うとオペラとミュージカルの間のようなもの。テンポの良い台詞や歌詞の内容からより観客の皆様がお芝居に入り込めるよう、日本語で上演される事がほとんどです。また、甘いワルツや踊りが沢山盛り込まれるのもオペラとはまた違った魅力の一つではないでしょうか。

鷗木:そうですね。ウィーンで親しまれた大衆向けの楽しい音楽劇をオペレッタといいます。終わりは必ずハッピーエンドになっており、観た方はきっと幸せな気持ちで舞台を後に出来ると思います。2006年、良い年だった人も、良くない年だった人も、オペレッタ良い所取りの「オペレッタ・ガラコンサート」を観てハッピーな気持ちで2007年を迎えましょう! 県民ホールでお待ちしています。

最後に県民ホールのお客様に一言メッセージをお願いします。

小沢:私は五歳から横浜育ちなのですが(今も在住)、横浜は音楽が盛んな土地だと感じています。今はMM線も開通して、県民ホールに行くのも便利になりましたし、近くには中華街や元町もあってコンサート前後の楽しみもあります。昔に比べて、クラシックが身近に感じられる機会が増えてきましたが、今までコンサートにあまり行ったことがない方に、ぜひ私達の演奏を聴いて頂きたいですね。音楽の可能性や新



後列左から 田上知穂(ソプラノ)、谷口睦美(メゾソプラノ)、北條聖子(ソプラノ)
前列左から 鷗木絵里(ソプラノ)、小沢祐美子(ソプラノ)

しい表現にきっとビックリされると思います。

谷口:2006年年末のコンサート、みなさんの心に残る楽しく素敵なコンサートとなるようにがんばります。

田上:年も押し迫り、気がせく時期ではありますがそんな時こそ、心がほっと温くなる時間を一緒に過ごしていただきたいです。私たちが歌だけでなくメイクや衣装にも力を入れて「娘」になりきります(笑)。当日お会いできることを楽しみにしています。

北條:オペレッタは理屈なしに心と体で楽しめるものです。お帰りの際にはシャンパンを飲みたいくらい夢心地になる事間違いない! どうぞ甘い恋心を一緒に体感して下さい! (2006年7月二期会スタジオにて)

「オペレッタ・ガラコンサート～金と銀」

平成18年12月29日(金) 19:00開演

神奈川県民ホール大ホール

「こうもり」「メリー・ウィドウ」「微笑みの国」などウイナナ・オペレッタの名曲からウイナナ・ワルツ、ポルカまで!

指揮: 松尾葉子 司会・編曲: 青島広志

出演: 佐々木典子(ソプラノ)、

鷗木絵里(ソプラノ)、志田雄啓(テノール)、

宮本益光(バリトン)、クラシック娘。

管弦楽: 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

舞踊: (社) 神奈川県芸術舞踊協会

料金: S席6,000円 A席5,000円 B席3,000円

学生席2,500円 S席ペア10,800円

「オペレッタ・ガラコンサート」&「こうもり」セット

(S席) 16,200円

イタリア留学中で今回の撮影に参加できなかった小林由佳(メゾソプラノ)さんからメッセージをいただいています。



今、私はFerrara(フェッラーラ)というルネサンス時代に栄えた街で生活しています。歌の勉強をしながら、それ以外にも、ルネサンス・ダンスを習ったり、Palio(パリオ)というお祭りに参加したり、イタリアの文化に触れる機会を与えていただいております。その中で感じる事は、いつの時代も音楽があり、それは時代や聴衆の求めるものに依りて形を変え、愛され楽しまれてきたという事

です。そう思うと、この「クラシック娘。」もまた新しい音楽の楽しみ方の1つなのかもしれません。今回の公演のオペレッタ・ガラコンサートですが、オペレッタ自体が、オペラと違って、決して悲しい内容のお話は使わず、最後は必ずハッピーエンド、音楽も舞曲などから来ていて、明るく、馴染み易い旋律が特徴です。とにかく難しい事は抜きにして、人間には絶対必要な音楽を思いっきり楽しんでいただければと思います。出演者とお客様が一緒になって、素敵な時間が過ごせれば最高に幸せです!!

音楽・演劇・舞踊・美術。どんな芸術活動でも、発表の場＝公演や展覧会を自分たちで企画することがあるだろう。ただ、その際には会場代をはじめ、かなりの開催費用がかかってくる。そこで注目したいのが、公演の開催費用等を援助してくれる助成金という制度だ。ちゃんと手続きを踏み審査を通ればお金がもらえるありがたいシステム。国や地方自治体だけでなく、財団法人等による助成も数多くあるので、紹介しよう。

助成金とは？

簡単に言うと、さまざまな活動（芸術活動だけでなく、先端技術開発や研究、起業資金なども含む）に対し、公の機関や財団などがお金をいくらか援助する、というものだ。しかし簡単にお金はもらえない。情報収集、申請手続き、前後の事務処理、といった手続きがある。

情報収集

インターネットを利用するのなら、芸術文化関係のサイト（下記コラム参照）をチェックし、そこから自分たちの企画にあった助成団体を捜していくのがいいだろう。助成財団センターのサイトでは、さまざまな団体を知ることが出来る。同センターの湯瀬秀行氏によると「助成財団は1000以上あり、各財団の特徴を良く知る必要があります。それぞれ助

成目的や対象がありますから相手方がどんな企画になら助成するかという視点が大切です。アマチュアは応募できなかったり、非公募だったり、地域を限定している場合もあります。また予算を多く申請しても、数多く検討している財団側はお見通しなので正直な申請がいいと思います」。

インターネットを利用しない場合は、同センターが毎年発行している『助成団体要覧』と『助成金応募ガイド』が便利。近くの図書館で探してみるとよいだらう。みつからない場合は同センターの資料室でも閲覧することが出来る。

助成金の申請手続き

申請したら必ずもらえるとは限らないので、複数の機関にエントリーするのが賢明。まずは、書類をダウンロードするか取り寄せる。事業計画書、収支

予算書、団体調書などのほか、過去の活動の写真、ビデオを提出する場合も多い。

書類の名前は大仰だが、要するに普段どんなことをしているか、今回どれだけお金がかかり、欲しい金額はどれくらいか、どうしてこの活動をするに決めたのか、を文章で伝えるわけだ。何件も書くうちに、自分たちの活動は社会一般でどうとらえられるのか、やりたいと思っていることは何なのか、が明確になってくる。やる気も出るし、視野も広がる。

前後の事務処理

めでたく助成金をもらえることになってもお金は終了後に出る場合が多い。実際の収支の報告書を提出、それをチェックされてお金が出る。公演を例にとると、プログラムには助成団体の名前だけでなくその助成制度のシンボルマーク（ロゴ）を入れる必要があったり、助成団体の人が公演を見に来ることもある。会場探し、スタッフ集め、稽古、当日のしきり等、やることは山ほどあるのに制作者の雑務はさらに増える。

助成金をもらうのは、実はとても大変だが、無理だとあきらめてしまっはそれまで。毎回、助成金申請業務も公演を行う仕事のうちと考え、日々情報収集に励みたい。

助成金関係の情報サイト

●各種助成団体情報を提供するサイト

■財団法人助成財団センター 03-3350-1857 <http://www.jfc.or.jp/>
助成制度を持つ各種財団を、事業形態・分野などから検索し紹介。

■メセナ活動データベース「メセナビ」 <http://www.mecenavi.info/>
社団法人企業メセナ協議会が運営。企業のメセナ活動や、民間財団の情報を紹介。

■fringe <http://fringe.jp/>
小劇場演劇の制作者を支援するサイト。

●総合的な文化情報サイト

■文化庁 <http://www.bunka.go.jp/>

■芸術文化振興基金 03-3265-6302
<http://www.ntj.jac.go.jp/kikin/index.html>
芸術文化を支援するために設立された基金。国立劇場や新国立劇場などにおいてある冊子「日本芸術文化振興会ニュース」にも情報が掲載されている。

■国際交流基金 <http://www.jpf.go.jp/> 03-5562-3538（情報センター）
海外における日本語教育などのほか、海外との文化芸術交流を支援。

※各助成団体についてはP6参照。

※このほか、国や地方自治体による助成金制度については、県またはお住まいの市町村にお問い合わせ下さい。

平成18年度神奈川県文化芸術活動団体事業補助金等交付要望書の一部記載例
神奈川県県民部文化課 上記補助金の募集案内

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/bunka/hojokin/hojokin.html>

※平成18年度の受付は終了しました。

記載例：舞台公演等の場合

(様式2)

事業計画書

事業名	第〇〇回神奈川の若い風コンサート公演		
事業実施日	平成18年 9月19日～平成 年 月 日	実施回数	計 1回
事業期間	平成18年8月1日～平成18年10月19日 (※事業着手日から決完了日まで)		
会場	住所 〇〇市〇〇区〇〇	名称	〇〇市文化会館 小ホール
事業目的・趣旨	県内のアマチュア音楽グループ等によるジャンルイベントコンサートを開催し、音楽文化の振興と団体間交流を促進する。		
事業内容	内容	県内のアマチュア音楽グループによる手づくりのジョイントコンサート	
	公演名	第〇〇回神奈川の若い風コンサート	
	日時	9月19日(月・祝) 14時開演、14時30分開演 (17時終演予定)	
	出演者	〇〇〇 (横浜市・ジャズ) 〇〇〇 (川崎市・ラテン) 〇〇〇 (相模原市・ロック)	
	音楽監督	〇〇〇 (音楽評論家)	
	構成	第1部 各グループの演奏	
	対象	第2部 合同演奏	
	広報	県民一般 雑誌「〇〇」に掲載 〇〇文化振興財団広報誌に掲載 チラシ5,000部を県内文化施設等に配布	
	入場券の販売方法	チケット〇〇、△△プレイガイドに委託、事務局にて販売広報	
特記事項	※詳細な企画書等がある場合は必ず添付してください。 ※巡回公演等、特筆すべきことがあれば記入してください。		
入場料	無・有	1人 2,000円 (高校生以下 1,000円)	
参加予定者(点)数	20人	鑑賞予定者数	300人
事業総予算額	2,000,000円		
交付要望額	300,000円		
当事業に係わる他団体からの共催・後援	(共催) 〇〇文化振興財団 <広報協力> (後援) 〇〇県教育委員会 <公費使用>		

>特集は6ページにつづきます。



助成財団センターの刊利物



助成財団センターの資料室(パンフレットより)

神奈川県内・公立施設催し物情報（各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい）

※電話番号をお確かめの上、お間違えのないようお願いいたします。

横浜地区

■大佛次郎記念館 045-622-5002
10月4日(水)～11月19日(日)
大佛次郎の「猫」白書
入館料 大人 200円 小・中学生 100円

■横浜市内各所 045-682-2015
10月7日(土)～8日(日) 12:00(予定)
横濱JAZZ PROMENADE 2006
1日券 4,000円、両日券 7,000円、ペア券 7,000円、
当日券 一般5,000円、中学生1,000円、
小学生以下無料

■横浜美術館 045-221-0300
10月7日(土)～1月8日(月・祝)
10:00～18:00(金曜日は20:00まで)
アイドル!
一般1,000円、大・高校生600円、中学生300円

■横浜みなとみらいホール 045-682-2000
11月3日(金・祝)、4日(土) 15:00
第25回横浜市招待国際ピアノ演奏会
全席指定 2,500円(学生1500円)

■横浜能楽堂 045-263-3055
11月4日(土) 14:00
企画公演「江戸大名と能・狂言」
第4回「前田斉泰と能・狂言」
S6,000円、A5,000円、B4,000円
(セット券あり)

■港南区民文化センター
「ひまわりの郷」ホール 045-848-0800
11月11日(土) 14:00
「源氏物語 有馬稲子 朗読の世界」
全席指定 一般3,000円、
60歳以上・障害のある方・学生2,500円

川崎地区

■川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)
10月7日(土) 14:00、18:00 10月8日(日) 14:00
かわさきヤングミュージカル2006「Let's Go!」
全席自由 大人1,000円、高校生以下 500円
市民局市民文化室 044-200-2280

■ミュージア川崎シンフォニーホール
044-520-0200
10月20日(金) 19:00
モーツァルト@オルガン!
S4,000円、A3,500円

11月18日(土) 18:00
～アンサンブル・シリーズ2006～
ウィーンヴァイオリン四重奏団
S3,000円、A2,000円

11月19日(日) 14:00
パイプオルガンで巡るヨーロッパ紀行 第6回
「フェルメールの嘘」S2,500円、A1,800円

■アートガーデンかわさき 044-200-1415
かわさき市美術展
彫刻・立体造形、工芸、書、写真部門
10月20日(金)～28日(土) 10:00～18:00
最終日は15:00まで(月曜休館) 無料

日本画、油彩、水彩、版画部門
11月3日(金・祝)～11日(土) 10:00～18:00
最終日は15:00まで(月曜休館) 無料

横須賀三浦地区

■よこすか芸術劇場 046-823-9999
<http://www.yokosuka-arts.or.jp>
10月15日(日) 14:00
宮本亜門演出 モーツァルト オペラ
「フィガロの結婚」

S 12,000、A 10,000、B 8,000、C 5,000、
学生半額

10月22日(日) 15:00
“情熱のアルゼンチン・タンゴ”カルロス・ラサリ楽団
S 5,000、A 4,000、B 3,000、学生半額

11月12日(日) 15:00
関東自動車工業 Presentsよこすか芸術劇場
オーケストラコンサート クラシック名曲集Vol.2
「モーツァルト協奏曲&アリア」
S 4,000、A 3,000、B 2,000、学生半額

■鎌倉芸術館 大ホール 0467-48-4500
10月1日(日) 15:00
ニコラ・ベネデッティ ヴァイオリンリサイタル
2,500円

10月6日(金) 11:00
今日は親子でコンサート
中学以上1,500円、小学生500円、3歳未満無料

10月11日(水) 19:00
夏木マリ・印象派Vol.8
S 6,000円、A 4,500円、B 2,000円

■逗子文化プラザホール 046-870-6622
なぎさホール
10月8日(日) 14:00
逗子名人会 第1回「東西落語新時代」
全席指定 前売 3,500円、当日 4,000円
3回セット券 9,000円

11月25日(土) 15:00
Les Frères Quatre Mains Live ～レ・フレール
キャトルマン(1台4手連弾)ライブ～
指定席 前売 3,500円、当日 3,800円
子供 2,000円、親子席 3,000円

さざなみホール
10月20日(金) 19:00
逗子・湘南ネクストウェーブ「さざなみライブ」Vol.1
全席自由 1,200円

■三浦市民ホール(「うらり」2F)
10月1日(日) 13:00
三浦市指定無形民俗文化財第34回 いなりっこ
無料

■海南神社神楽殿
11月3日(金・祝)、4日(土) 17:00頃
三浦市指定無形民俗文化財 海南神社 面神楽
無料
三浦市教育委員会 社会教育課文化財保護係
046-882-1111(内線412)

■葉山町福祉文化会館
ホール046-876-1871
10月21日(土) 14:30
養老孟司講演会&葉山祝祭管弦楽団コンサート
全席自由 前売 3,000円、当日 3,500円

11月16日(木) 13:30
女と男のアンサンブル
私たちは「ペアテの贈りもの」をどう活かしてきたか
講演:江刺昭子(ノンフィクション作家)
映画上映:ペアテの贈りもの

無料
葉山町総務部企画課電話046-876-1111
内線331～333 保育・手話通訳あり
(事前予約制、希望者は11月2日までに連絡)

湘南地区

■平塚市民センターホール 0463-32-2237
10月22日(日) 13:30、17:30
小林幸子コンサート
全席指定 SS 6,000円、S 4,500円、A 3,000円

11月10日(金) 18:30
梯剛之ピアノリサイタル
全席指定 一般3,000円、身体障害者手帳お持ちの方、高校生以下1,200円

大ホール
11月22日(水) 18:30
タンゴエクセレント 全席指定 3,000円

■湘南台文化センター(市民シアター)0466-28-1135
10月19日(木) 18:30
原作・ウディ・アレン、演出・KERA
オリガト・プラスチックVOL3「漂う電球」
全席指定 4,300円

10月28日(土) 16:00
～ショパンの肖像～VOL.3 米良美一ほか
全席指定 2,500円

■茅ヶ崎市民文化会館大ホール 0467-85-1123
11月5日(日) 17:30
ハンガリー国立歌劇場ブッチーニ:歌劇
「トスカ」全3幕
全席指定A 16,000円、B 13,000円、C 学生9,000円

■茅ヶ崎市民文化会館小ホール 0467-85-1123
11月18日(土) 18:00
「踊りに行くぜ!! Vol.7茅ヶ崎公演」
全席自由 一般2,500円、当日3,000円
学生 1,500円、高校生以下 1,000円

■秦野市文化会館 0463-81-1211
10月14日(土) 17:30
ホワイエサロンコンサート 無料

11月19日(日) 14:00
演劇 劇団まほろば「さらわれてズーらしあ」
&真夏座「ジョージとエミリ」
全席自由 一般3,000円、小・中学生1,000円

11月26日(日) 15:00
由紀さおり&安田祥子童謡コンサート
全席指定 S 5,500円、A 4,500円

■伊勢原市民文化会館大ホール 0463-92-2300
10月7日(土) 18:30
鼓童 ONE EARTH TOUR
全席指定 4,000円

■寒川町民センターホール 0467-74-2333
10月14日(土) 14:30
文化講演会
「スポーツの世界から学ぶ道徳心養成講座」
三浦泰年 ヴィッセル神戸(トップチームコーチ)
無料(対象:町内在住在勤の方850名)

11月11日(土) 第1部13:30、第2部18:00
演芸バラエティーショー
「曲芸、ものまね、漫才、落語」
全席指定 町内在住の人(抽選)
第1部 600人、第2部 800人

▶情報は5ページにつづきます。

神奈川県内・公立施設催し物情報(各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい)

※電話番号をお確かめの上、お間違えないようお願いいたします。

■二宮町生涯学習センター 0463-72-6911
(ラディアン)ホール
11月3日(金・祝)14:00
N響室内合奏団演奏会「珠玉の名曲コンサート」
全席指定 シングル 4,000円、ペア 7,000円

県央地区

■厚木市文化会館 046-224-9999
大ホール
10月15日(日)15:00
アマデウスを聴こう!
全席指定 S 3,500円、A 3,000円
(小・中・高校生50%割引)

小ホール
10月21日(土)18:00、10月22日(日)14:00
ご長寿ねばねばランド
全席指定 前売4,200円、当日4,500円、学生3,000円

11月12日(日)13:00、11月25日(土)13:30
第4回厚木市郷土芸能まつり
「郷土芸能発表会」・「相模人形芝居特別公演」
入場無料、全席自由
厚木市教育委員会文化財課046-225-2509(直通)

■大和市生涯学習センターホール
11月4日(土)10:00
第2回大和文芸映画祭
全席自由1,500円(当日2,000円)(再入場可)
(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団よか課
046-260-5305

■海老名市文化会館 046-232-3231
10月5日(木)18:30
渡辺美里コンサート 全席指定 6,800円

10月19日(木)19:00
アマデウスライブ 全席指定 2,500円

10月20日(金)19:00
上松美香コンサート 全席指定 4,500円

県北地区

■グリーンホール相模大野
チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999
大ホール
10月7日(土)18:00
ダニエル・ハーディング指揮
マーラー・チェンバー・オーケストラ
全席指定 S 11,000円、A 9,000円、B 7,000円
学生4,000円(当日指定)

■社のホールはしもと ホール
チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999
11月24日(金)18:30
さがみはらの音楽家たち コンサートNo.45
プラス!オン・ステージ
全席自由 一般2,000円、高校生以下1,000円

■社のホールはしもと ホール
チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999
10月8日(日)①14:00、②18:00
人形浄瑠璃 文楽
①昼の部「菅原伝授手習鑑」ほか
②夜の部「曾根崎心中」ほか
全席指定 一般4,000円、学生3,000円

■県立相模湖交流センター 0426-82-6121
11月18日(土)14:00
ベートーヴェン「第九」日本初演時
再現演奏会のための「セミナー&ピアノコンサート」
出演:中島良史、松田和将
入場無料 定員400名(先着順)要整理券

西湘・足柄地区

■真鶴町立中川一政美術館 0465-68-1128
9月30日(土)～11月26日(日)
特別展 一政・人を描く
大人 800円、高校生以下 400円

10月21日(土)16:30
美術館講演会
講師 松島治基氏(画家、春陽会会員)
ゲスト 中川陽介氏(一政孫)
料金は特別展入館料のみ(上記)

美術館コンサート
①11月3日(金・祝)18:30
ハープとマリimba
②11月4日(土)18:30
二胡と揚琴
いずれも料金(自由席)大人1,000円(往復はがきによる申込み)

■南足柄市文化会館大ホール 0465-73-5111
11月19日(日)15:00
ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場オペラ
「フィガロの結婚」
全席指定 S 10,000円、A 8,000円、B 6,000円

11月26日(日)17:00
綾戸智絵Concert2006
全席指定 7,000円

■松田町民文化センター 0465-83-7021
11月5日(日)14:00
エルネスト・カプセルジャパンツアー2006
全席自由 大人2,000円、小人1,000円(中学生以下)

■山北町中央公民館
町民文化祭
①俳句大会10月22日(日)500円
②謡曲大会(健康福祉センター)10月29日(日)500円
③展示発表会11月2日(木)～4日(土)無料
④芸能発表会11月12日(日)無料
山北町生涯学習課生涯学習班0465-75-3649

県立施設情報

■県立神奈川近代文学館 045-622-6666
「俳句 その魅力展」記念俳句大会
(「港」をテーマにした句を募集)
投句ウィーク 9月30日(土)～10月9日(月・祝)
①一般の部(選評会10月20日(金))
選者:星野椿
②高校生以下ジュニアの部(選評会10月22日(日))
選者:復本一郎
投句料(2句1組)一般1,000円ジュニア200円(実費のみ)
選評会は入場無料(要申し込み)

「俳句 その魅力展」記念講演会
①長谷川權「闘う人、虚子」
10月14日(土)14:00
②村上護「山頭火の旅と俳句」
10月21日(土)14:00
いずれも全席自由1,000円(友の会800円)

■県立青少年センターホール 045-263-4475
11月26日(日)13:00
かながわこども民俗芸能フェスティバル
「くれとろびーと2006」
無料(往復はがきによる申込み)

■県立近代美術館
葉山 046-875-2800
10月21日(土)～12月24日(日)
9:30～17:00(入館は16:30まで)
日本画の変革者 山口蓬春展 伝統とモダンの融合
一般1,000円、20歳未満・学生850円、
65歳以上500円、高校生以下・障害者無料

鎌倉 0467-22-5000
10月28日(土)～12月24日(日)
9:30～17:00(入館は16:30まで)
イメージの迷宮に棲む 柄澤 齊展 版画、
オブジェ、水彩、本 1971-2006
一般800円、20歳未満・学生650円、
65歳以上400円、高校生以下・障害者無料

■県立藤野芸術の家 042-689-3030
10月19日(木)11月2日(木)11:00
陶芸講座「重ね皿をつくる」
～タタラ技法で大中小三つの皿作り
全二日間コース 参加費3,400円
(往復はがきによる申込み)

10月22日(日)、29日(日)13:30 全二日間コース
「打楽器奏者・神田佳子を迎えて」
～初心者のための打楽器体験教室
参加費500円(要電話予約)

column :
県立神奈川近代文学館

港の見える丘公園に建つ県立神奈川近代文学館は、神奈川にゆかりの深い近代文学資料を収集・整理保存し、展示・閲覧する施設です。

広く文字・活字文化についての関心と理解を深めるため制定された「文字・活字文化の日」(10月27日)を記念して、同日近代文学館では次の事業を行います。

記念対談:荒俣宏、紀田順一郎

10月27日(金)13:30～ 料金:1,000円

このほか、入館無料・展示館開館時間1時間延長、入館者にプレゼント抽選、貴重な蔵書の保存・整理の一端を知ることができ

るバックヤード見学、展示説明会、稀観本(めったにない珍しい本)の閲覧室ミニ展示などを予定しております。ぜひお越しください。

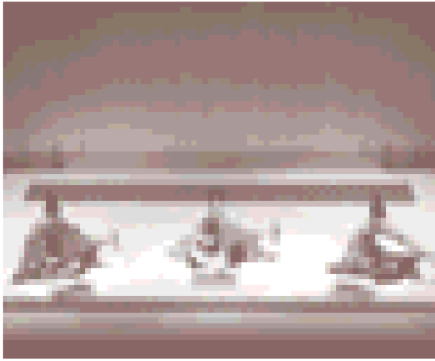


施設概要

●開館時間/展示室:9:30～17:00(入館16:30まで)
※10月27日は1時間延長
閲覧室/9:30～18:30(土日祝は17:00まで)
会議室/9:30～21:00

●休館日/月曜(祝日は開館)、12月28日～1月4日
●所在地/〒231-0862 横浜市中区山手町110
●交通/東急東横線直通・みなとみらい線 元町・中華街駅下車(5番出口)徒歩8分 又は、横浜市営バス11系統、20系統「港の見える丘公園」下車徒歩3分
●お問い合わせ/県立神奈川近代文学館
045-622-6666 http://www.kanabun.or.jp

琵琶演奏と舞をする中村かほろさんは、
自分のソロ・リサイタルのために個人で助成金を申請、
すべて異なる団体から3年連続で助成を受けることができた。話を聞いてみよう。



1回目の助成金は2002年に芸術文化振興基金(P3参照)でいただきました。紀尾井ホールでソロ・リサイタルを行うためです。出演者が多く、個人で演奏会をするには援助がないと無理だったので。でも初めてのリサイタルでキャリアもないし、助成金なんて絶対貰えないと思っていたんです。

芸術文化振興基金に電話したらもう締め切りまで一週間しかなくて、間に合わないから募集要項を取りに来てくださいといわれて、取りにいった30分くらい説明を受けました。細かい事を書けるかなと思っただけどやるしかない。とにかく時間がないので書いたものを持参してチェックしてもらったんです。要領がわからないから真正直に書きました。普通は多少大げさに書くのでしょけど。ほかの申請先は全部落ちたのにここからいただいでしまいました。

収支に関しては何回か書類を提出しました。申請が通った後に確認みたいにもう一度出す書類

があって、事業が終わった後は報告書を2、3ヵ月後に出します。実際にかかった金額の計算が一円でもちがうと「ここに間違いがあります」なんて言われたりします。全部終わって、報告書を出した後にお金がきます。数ヵ月後に助成金が振り込まれました。

2回目は2003年のソロ・リサイタルで野村国際文化財団(下段コラム参照)から助成を受けました。計画を立てるのが遅かったので申請できるどころがなくて、必死で探して提出しました。

3回目は2004年のソロ・リサイタル。邦楽振興基金(芸団協芸能文化振興部気付 芸能花伝舎 FAX03-5909-3061)の助成でした。

正直にやりたいことを書いてだけです。どういう方向で、どう表現、活動をしたいのか、自分の中で明確に決まっていなくていいです。あと公演内容も下案でもいいからともかくは書きなねばならない。何件もまとめて書くからコピーをたくさんとったりして、書類を作るのはすごくエネルギーが必要です。

それと併行して公演をするホールを探して内金を払ったり、広告取りもする。プロの事務所の方に相談したら、自分でやりなさいと言われました。この程度のことは自力でやれということだとその時は思いましたが、いずれ誰かにお願いするにしても、自分でやって把握しておかないと、正しい指示が出せないということがわかりました。

最後に、経験者ならではの、
申請をする際の心構えについて。

自分で書いて出すというのは勉強になりました。怖がらずに、間違えてもいいくらいの気持ちでやるといいと思う。初めてのときは正直に申請するだけだから。

締め切り日は夏が多く秋ではもう遅い。個人では受け付けないとか演奏経歴がないとだめということもあります。申請先の財団の趣旨をよく把握するのは大事ですね、そこが相手にしないような内容だと最初から話になりませんから。どんな事業を対象に支援してくれるのかをよく理解して、それに合う文章を書かないといけません。終わったあとには反省はたくさんあるし課題もありますよ。でも一回はやってみるべきです。申請書を書くだけでも、書類を取り寄せるだけでもいいので、トライしてみてください。



■中村かほろ(Kahoru Nakamura) 琵琶奏者
世界最古の琵琶譜「番假崇」(芝祐靖氏復曲)の演奏に出会い雅楽を学ぶ。国内外で古典雅楽、現代作品等の演奏活動をしている。伶楽舎所属。コンサートシリーズ「琵琶・舞」主宰。2000年度文化庁芸術研修員。

(P3&P6 取材・執筆 結城美穂子)

column :
芸術関連事業へ助成金を出す財団

助成財団センター刊行『NPO・市民活動のための助成金応募ガイド2006』『助成団体要覧2006』より。芸術・文化関連事業の助成金を出す財団(一部)

●(財)朝日新聞文化財団
TEL03-5568-8816

●(財)アサヒビール芸術文化財団 TEL03-5608-5202
<http://www.asahibeer.co.jp/csr/philanthropy/ab-art/index.html>

●(財)花王芸術・科学財団 TEL03-3660-7055
<http://www.kao-foundation.or.jp/>

●(財)セゾン文化財団 TEL03-3535-5566
<http://www.saison.or.jp/>

●(財)全国税理士共栄会文化財団 TEL03-5740-8331
<http://www.zenzeikyoo.com/cata.html>

●(財)日本室内楽振興財団 TEL06-6947-2183
<http://www.jcmf.or.jp/>

●(財)野村国際文化財団 TEL03-3271-2330
<http://www.nomuraholdings.com/jp/bunka-zaidan>

●(財)ポーラ美術振興財団 TEL03-3494-8237
<http://www.pola-art-foundation.jp/>

●(財)松尾学術振興財団 TEL03-3223-8751
<http://www.matsuo-acad.or.jp/>

●(財)ヤマハ音楽振興会 TEL03-5773-0916
<http://www.yamaha-mf.or.jp/>

●(財)UFJ信託文化財団 TEL03-3218-0611

●(財)ロームミュージックファンデーション TEL075-311-7710
<http://www.rohm.co.jp/rmf>

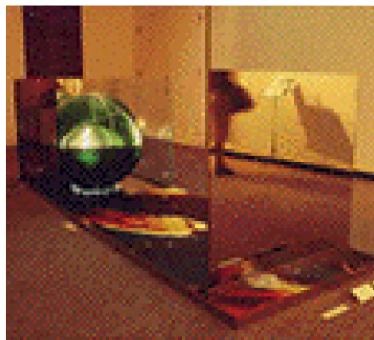
●(財)ローランド芸術文化振興財団 TEL053-523-0352
<http://www.roland.co.jp/found/>

#001 美術

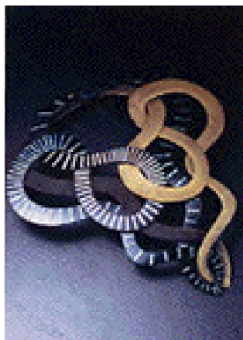
超・陶醉！ スーパー・エクスタシー ～7人のクリエイターによる 至福への旅路～ 7人のクリエイター。7色の感動。



山田正好『ある胎児の道程』
©Jean Marie FRANCIUS



野田雄一『天球』



松島さくら子
『Upper Body Ornament 2000』

現代作家シリーズ、神奈川県国際版画トリエンナーレ、フォーカスシリーズなど、同時代のアートの動向を先取りしてきた神奈川県民ホールギャラリー。

本年10月、このギャラリーでは、5室の展示スペースを存分に活用し、彫刻、オブジェ、ガラス、漆、写真の分野で、日本のみならず海外でも高い評価を得る7人のクリエイターにより、彼らの新作と秀作が一同に集結する展覧会を開催します。題して、「スーパー・エクスタシー」。

素材も表現するものも全く異なる7人のクリエイター。それぞれの作家のコーナーには作品からイメージされる「暁」「漆の森」「宴」「春の雪」「追憶」「兆」「闇」というテーマが設けられ、全く趣の異なる作品に出会いながら感

動を体感するうちに、至福の境地＝スーパー・エクスタシーへと導かれます本展はさまざまな美をめぐるテーマパークとも言えるでしょう。

出品作家は、雪解けを表現する彫刻からものあわれを導く三澤憲司のインスタレーション。人間の存在と進化をオブジェで表現する野村和弘。鮮やかな光の美を創出するガラス作家の野田雄一。漆のみの積層からなるオブジェの藤田敏彰。漆に秘められた力を探りアジアを旅する松島さくら子の漆ジュエリー。写真では静謐な日常のひと時を捕らえる塩崎由美子。そしてパリで活躍する山田正好により、赤ちゃんのオブジェをもとにしたインスタレーションが展開されます。

今、ホットな7人の作家のホットな作品に触

テーマと作家・作品

「暁」 野田雄一 ガラス・インスタレーション

「漆の森」藤田敏彰 漆

「宴」 松島さくら子 漆

「春の雪」三澤憲司 彫刻・インスタレーション

「追憶」 塩崎由美子 写真

「兆」 野村和弘 オブジェ・インスタレーション

「闇」 山田正好 オブジェ・インスタレーション

会場 神奈川県民ホールギャラリー

会期 平成18年10月28日(土)～11月24日(金)
*会期中無休

時間 9時から18時[入館は17時30分まで]

料金 一般700円、大学生・65歳以上500円
県民ホール事業課 045-633-3795
高校生以下、障害者手帳をお持ちの方その
介護の方1名は無料、かながわアーツ倶楽
部会員・10名以上の団体は10%引き

主催 神奈川県民ホール

<http://www.kanakengallery.com/>

助成 財団法人花王芸術・科学財団

れることで、「超・陶醉＝スーパー・エクスタシー」を体感するとともに、アートファンのみならず初心者の方でも、現在の美の動向が一挙に楽しめます。あなたの鑑賞眼が広がるこの展覧会、どうぞお楽しみに。

(※写真と出品作品は異なる場合があります)

#002 演劇

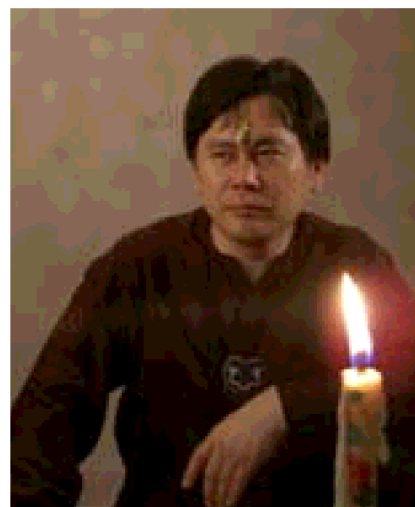
大好評の「カナガワ・アート・カフェ」第2弾！

講談と演劇を組み合わせるといふユニークなスタイルと、ひとりで全てを演じきる凄まじいエネルギーで大好評を得た「楠美津香ひとりシェイクスピア」で始まったカナガワ・アート・カフェ。様々な価値観を持ったアーティストを自由に紹介していく新シリーズ第2弾は、独特な色気を醸し出す声を武器に、ジャンルを横断しながら声帯の可能性を探るアーティスト巻上公一氏が登場します。

ホームイ(喉歌)とパフォーマンスで織りなす
摩訶不思議な巻上ワールド！

今回は、南インド・世界最古の舞踊劇「クーリヤットム」に想を得た最新作。あでやかな化粧と様式的な手の動き、そして太鼓の響きを特徴とする「クーリヤットム」風パフォーマンスに、倍音唱法ホームイ(喉歌)の日本での第一人

者としても知られる巻上氏が、ホームイを交えて創りだす新たな芸術世界。演劇・マイム・舞踊・謡などすべての芸能の原点とも言われる「クーリヤットム」を現代日本に出現させる、異色のパフォーマンス。ご期待ください！



まきがみ・こういち

巻上公一 超歌唱オペラ『チャクルパットム』 作・演出・音楽 巻上公一

出演 巻上公一 鈴木太 檜山ゆうこ ハタナカ 大隅健司 栗林久美子 菊川真紀 徳久ウイリアム 賃貸人格 太田収紀 華代

日時 9月30日(土)18:00開演 10月1日(日)14:00開演 会場 県立青少年センター2F 多目的プラザ

料金 一般2,000円 学生1,800円 県民ホールチケットセンター 045-662-8866 <http://www.kanagawa-arts.or.jp>

主催 (財)神奈川県芸術文化財団 神奈川県

神奈川フィルハーモニー公演情報

■横浜みなとみらいホール

10月5日(木) 19:00

第229回定期演奏会「フランス近代の色彩」

全席指定 S6,000円 A4,500円
B3,000円 学生 1,000円

11月10日(金) 19:00

第230回定期演奏会「アジアの時代」

全席指定 S6,000円 A4,500円
B3,000円 学生 1,000円

神奈川フィル・チケットサービス

045-331-6699(平日10時~18時)

■かながわアートホール

■見学ギャラリー

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

リハーサル公開(予定) 無料

9月	18(月)	22(金)	30(土)
10月	3(火)	4(水)	7(土) 11(水)
	12(木)	18(水)	19(木) 24(火)
	25(水)	31(火)	
11月	2(木)	7(火)	8(水) 9(木)

※日時・内容が変更になる場合がありますので、
詳細は神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局
045-331-4001までお問合せください。

■休館日

9/19(火)、9/25(月)、10/2(月)、10/10(火)、10/16(月)、
10/23(月)、10/30(月)、11/6(月)、11/13(月)

横浜市保土ヶ谷区花見台4-2

http://www.kanagawa-arts.or.jp

TEL045-341-7657

第55回神奈川文化賞・スポーツ賞

贈呈式・祝賀音楽会 無料ご招待

日時・出演 11月3日(金・祝) 13:00~

指揮:現田茂夫

ヴァイオリン:松田理奈

管弦楽:神奈川フィルハー

モニー管弦楽団

曲目:モーツァルト/ヴァイ

オリン協奏曲第5番 ほか

申込み 往復はがきに住

所、氏名、電話番号、人数

(1枚で2名まで)を明記し、

10月6日(金)までに下記まで。

申込み先・お問い合わせ

〒231-8588(所在地を記載しなくても届きます)

県文化課「贈呈式・音楽会」係 TEL045-210-3808



松田理奈

県立神奈川近代文学館友の会募集中

○県立神奈川近代文学館では、随時友の会の入会を受けています。多くの特典がありますので、この機会に是非ご入会ください。

入会特典◆展示会を無料観覧◆講演会、朗読会などの各種行事や刊行物を会員価格で提供◆人気の行事の情報をいち早くお届け◆友の会限定の文学散歩・文学講座等を開催

会費 半期会費 1,000円(10月~3月)

年間会費 2,000円(4月~3月)、

家族 1,000円(年間会員家族、複数可)

お問い合わせ・資料請求

県立神奈川近代文学館(P.5に施設概要あり)

TEL045-622-6666(9:30~17:30)

http://www.kanabun.or.jp

ストリートミュージシャンフェスティバル

横浜#6:セミファイナル

テープ審査を通過した10、20、30代各14組がファイナル進出を目指すライブコンテストです。

日時 10/28(土) 15:00、10/29(日) 14:00

会場 かながわアートホール

入場料 500円

お問い合わせ

NPO法人ARCSHIP(アークシップ) TEL045-243-2247

または 県文化課 TEL045-210-3808

第42回神奈川県美術展 大賞受賞作決定!

●平面立体部門大賞 田中幹「COCOON」



鉄 80×400×100cm

●工芸部門大賞 岡本明子「COBALT BLUE」

●書部門大賞 宮脇小夜子「秋登宣城謝朓北楼」

●写真部門大賞 商家訓「路傍の華(3枚組)」

<入賞・入選作品の展覧会>

1期展 [工芸・書・写真] 9月13日(水)~9月24日(日)

2期展 [平面立体] 9月27日(水)~10月8日(日)

※9時から18時(各最終日は14時まで)

会場 県民ホールギャラリー 入場無料

お問い合わせ

県民ホール事業課 TEL045-633-3687



神奈川県

県民部文化課 文化企画班 電話(045)210-3804(直通) FAX(045)210-8840
横浜市中央区日本大通1 〒231-8588 電話(045)210-1111(代) 内線3804~3807

第13回神奈川国際芸術フェスティバル協賛企業・団体ご芳名

【協賛】

株式会社浅岡装飾 学校法人岩崎学園 上野トランステック株式会社
株式会社ヴォートル 株式会社NHKアート NTT東日本
株式会社オーチャー 株式会社加藤組 神奈川県民共済生活協同組合
神奈川県民共済生活衛生同業組合 株式会社神奈川孔文社
株式会社神奈川保健事業社 神谷コーポレーション株式会社
川本工業株式会社 かをり商事株式会社 株式会社キョウエイ装備
キリンビール株式会社横浜統括支社 株式会社ケイエスピー
国際警備株式会社 生活協同組合コープかながわ 株式会社さが美
相模鉄道株式会社 株式会社三晃空調 湘南信用金庫
株式会社スズゼン 鈴廣かまぼこ株式会社 生活クラブ生活協同組合
株式会社清光社 設備メンテナンス株式会社 大栄電子株式会社
タカナン乳業株式会社 月島機械株式会社 東京ガス株式会社神奈川支店
東京電力株式会社神奈川支店 東工株式会社 東神工芸株式会社
ナイス株式会社 日産自動車株式会社 日本電気株式会社神奈川支社
東日本キャタビラー三菱建機販売株式会社 株式会社日立製作所横浜支社
不二音響株式会社 平安堂薬局 株式会社ホテル、ニュージャパン
丸茂電機株式会社 株式会社三木組 森平舞台機構株式会社

株式会社山武 株式会社有隣堂 株式会社豊商会
株式会社横浜アーチスト 横浜新都市センター株式会社
横浜トヨペット株式会社 横浜ビルシステム株式会社
株式会社ワイイーシーソリューションズ 和同建設株式会社
【協力】
株式会社勝烈庵 神奈川トヨタ自動車株式会社 株式会社崎陽軒
コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社 サッポロビール株式会社
鈴廣かまぼこ株式会社 株式会社東芝首都圏南支社 ナイス株式会社
日本通運株式会社横浜中央支店 野村證券株式会社横浜支店
三菱地所株式会社 (2006年8月8日現在)

【かながわアーツ倶楽部法人会員】

上野トランステック株式会社 株式会社ヴォートル 株式会社オーチャー
神奈川県信用保証協会信和会 株式会社神奈川新聞社
神奈川臨海鉄道株式会社 かをり商事株式会社 湘南信用金庫
株式会社鈴廣蒲鉾本店 tvk 東工株式会社 奈良建設株式会社
株式会社野毛印刷社 三菱電機ビルテクノサービス株式会社横浜支社
横浜信用金庫 (2006年8月8日現在)

The International
Arts Festival In
Kanagawa

TOSHIBA

HD DVD
TM

世界初*、HD DVD搭載ハードディスクレコーダー、誕生。

www.hddvd-toshiba.jp



HD DVD搭載ハードディスクレコーダー RD-A1

*2006年6月22日発表時点、HD DVDドライブ搭載機器として。*HD DVDロゴはDVDフォーマットプロダクション(株)の商標です。